

地域のゼロカーボンを考えるワークショップ ワークシート

<シートの用途>

- ・「脱炭素社会」のイメージが湧かずに議論が停滞してしまいそうな時にアイスブレイクとして使う
- ・地域で脱炭素を達成するために必要なことを考えるきっかけに使う

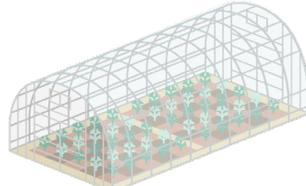
ワーク①:もしも突然、化石燃料が使えなくなったら？

シート

地域の誰が	どうして困る？どのように困る？	対応策

地域の誰が	どうして困る？どのように困る？	対応策
<h2>考える順番</h2>		
① 具体的な人を思い浮かべて…		
	② 具体的な困りごとを思い浮かべて…	
		③ もし「何でもできる」としたらどう解決しますか
		 何でもできるマン

ワーク①:もしも突然、化石燃料が使えなくなったら？

地域の誰が	どうして困る？どのように困る？	対応策
<p>① 具体的な人を思い浮かべて…</p>	<p>② 具体的な困りごとを思い浮かべて…</p>	<p>③ もし「何でもできる」としたらどう解決しますか</p>
<p>例) 農業者</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ ガソリン残り僅か…農機具が気軽に使えない／軽トラも乗れないので運べない。 ・ ハウスのボイラーが使えない、野菜の元気がなくなっていくのを見ているだけ… 	<ul style="list-style-type: none"> ・ ソーラーエネルギーで稼働する大八車を開発する 
<p>例) 小学生</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 教室の電気が点かない。勉強に集中ができない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 青空(屋上)教室を開設する 雨の日は休み？
		<div style="background-color: yellow; text-align: center; padding: 20px; font-size: 48px; font-weight: bold;">例</div>

	課題	必要なこと	既に取り組んでいる場合	
			どのように課題を乗り越えたか	課題を乗り越えようとしてうまくいかなかったことは何か
人材				
仕組み				
技術				
機運				
資金				
その他				

ワーク②: 地域脱炭素実現のために必要なこととは？

	課題	必要なこと	既に取り組んでいる場合	
			どのように課題を乗り越えたか	課題を乗り越えようとしてうまくいかなかったことは何か
人材	人手が不足している	・危機感の共有		
仕組み	・社内他部(課)との連携が取れない	・域外との連携 ・行政+民間の連携		・役所内に連携チームを作ったが多忙で集まれず形骸化してしまった。
技術	・知見が不足している ・企業が地域になかなか入れない		・民間企業と連携し、企業負担で技術実証を行った	
機運	・モチベーション ・儲かるのか不安			・民間企業への普及啓発イベント等を実施したがそれで終わってしまった
資金	・コストがかかる ・条件が合わなく国の予算を活用できない	 埋められる範囲でOK		
その他	・教育の差			

例